

きをより迅速に把握し、スムーズに静岡地方気象台や上部機関へ伝え、気象業務に反映できるようにすると

共に、気象庁の情報を的確にわかり易く地域に伝える測候所として役立ちたいと願っている。



2002年武田賞フォーラムのご案内

(財)武田計測先端知財団は、「2002年武田賞フォーラム」を開催いたします。二年目の今回は、「生活者の選択に応えるテクノアントレプレナーシップと工学知」と題し、各受賞者の方々の講演と受賞者全員に参加頂くパネルディスカッションを予定しております。ぜひ、ご来臨賜りますようご案内申し上げます。

日 程：2002年11月20日（水）

会 場：東京全日空ホテル（港区赤坂1-12-33）

参加申込み：<http://www.takeda-foundation.jp/>

申込締切日：2002年11月13日（水）

【参加無料】

【プログラム】

「生活者の選択に応えるテクノアントレプレナーシップと工学知」

どんなに優れた業績でも生活者によって選択されなければ生活者の豊かさ、幸福には寄与しない。生活者による選択とは何か、2002年武田賞受賞者の業績に生活者の選択の意味を探る。

セッションA：情報・電子系応用分野

“青色発光デバイスの開発に懸けたテクノアントレプレナーシップ”

受賞者紹介講演

9：30～9：40 垂井康夫

(武田計測先端知財団常任理事)

講演

9：40～10：20 赤崎 勇 (名城大学教授)

10：20～11：00 天野 浩 (名城大学教授)

11：00～11：40 中村修二 (カリフォルニア大学教授)

セッションB：生命系応用分野（逐次通訳付）

“ゲノムの新世界を探る工学知”

受賞者紹介講演

9：30～9：40 松原謙一

(武田計測先端知財団常任理事)

講演

9：40～10：40 スティーブン・フォダー

(アフィメトリクス社会長兼 CEO)

10：40～11：40 パトリック・ブラウン

(スタンフォード大学教授)

セッションC：環境系応用分野（同時通訳付）

“人工衛星搭載レーダが解き明かす地球環境”

受賞者紹介講演

9：30～9：40 鈴木基之

(武田計測先端知財団常任理事)

講演

9：40～10：20 チャールズ・エラチ

(米国ジェット推進研究所所長)

10：20～11：00 畚野信義

(国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 社長)

11：00～11：40 岡本謙一 (大阪府立大学教授)

パネルディスカッション（同時通訳付）

13：00～15：00 パネルディスカッション

“生活者の選択に応えるテクノアントレプレナーシップと工学知”

司 会：西村吉雄 (武田計測先端知財団理事)

パネリスト：受賞者全員（8名）

15：15～16：30 2002年武田賞・武田研究奨励賞授賞式

16：30～17：30 カクテルレセプション

●授賞式とカクテルレセプションには、どなたでもご自由にご参加いただけます。ぜひお越し下さい。

詳細は本財団ホームページをご覧ください。

お問い合わせ：財団法人武田計測先端知財団

津坂真理子 小坂真奈美

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1

聖路加タワー-32F 私書箱33号

Tel：03-3549-2781, Fax：03-3549-2787

E-mail：forum@takeda-foundation.jp